

**デジタルカメラ「FinePix X100」や乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET」など
富士フィルム 主要10製品が「グッドデザイン賞」を受賞！
イメージング、グラフィック、メディカルなど多様な分野の製品のデザイン力と優れた性能が評価**

平成23年10月5日

富士フィルム株式会社(社長:古森 重隆)は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する2011年度グッドデザイン賞^{※1}において、デジタルカメラ「FinePix X100」や、乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET(アミュレット)」など主要10製品が、「グッドデザイン賞」を受賞しました。

今回、当社が「グッドデザイン賞」を受賞したのは、デジタルカメラやフォトブック作成ソフトウェアなどのイメージング分野の製品・サービス、デジタルX線診断装置やX線医療画像処理ユニットなどのメディカル分野の製品、グラフィック分野の画期的なインクジェットデジタル印刷機など、コンシューマ向け製品から業務用製品まで、多岐にわたっています。また、製品の外観デザインだけでなく、それぞれの製品の高い性能、使いやすさや、快適な操作を実現したユーザーインターフェース、医療機器における体への負担の少なさなど、様々な観点から高く評価されました。

多くの応募の中から、多数の当社製品が「グッドデザイン賞」に選ばれましたことを励みに、これからも優れた製品の開発に取り組んでいきます。

<「グッドデザイン賞」受賞製品>

①デジタルカメラ
「FinePix X100」②デジタルカメラ
「FUJIFILM X10」③デジタルカメラ
「FinePix F600EXR」④デジタルカメラ
「FinePix XP30」⑤乳がん検査用
デジタルX線撮影装置
「AMULET f / AMULET s」⑥デジタルX線画像診断装置
「FUJIFILM DR CALNEO C
Wireless シリーズ」⑦X線医療画像処理ユニット
「CONSOLE ADVANCE」⑧中判フィルムカメラ
「GF670W Professional」⑨フォトブック作成ソフトウェア
「フジフィルムフォトブック ハードカバー
店頭機主文用ソフトウェアおよびサービス」⑩インクジェットデジタル印刷機
「Jet Press 720」

※1：昭和32年に通商産業省（現経済産業省）によって創設された「グッドデザイン商品選定制度（通称Gマーク制度）」を母体とし、平成10年より財団法人日本産業デザイン振興会（現公益財団法人日本デザイン振興会）の主催事業として運営される日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度。これまで50年以上にわたり、産業の発展とくらしの質を高めるデザインを広く伝えることを目的に展開されています。

2. グッドデザイン賞 受賞製品

■デジタルカメラ「FinePix X100」

新開発フジノン 23mm(135換算35mm相当)F2レンズと、1200万画素APS-CサイズCMOSセンサー、EXRプロセッサーを搭載し、一眼レフを凌駕する高画質を実現したプレミアムコンパクトデジタルカメラ。光学ファインダー(OVF)と、電子ビューファインダー(EVF)の2つのファインダーを切り替えて使える世界初の「ハイブリッドビューファインダー」を搭載。カメラのアナログ的な操作感を楽しみながら、デジタルの先端機能を駆使できる、新たな「ファインダーを覗いて撮る」スタイルをお楽しみいただけます。

【審査員の評価コメント】

光学ファインダーと電子ファインダーの両方の特性を併せ持つハイブリッドビューファインダーは、ファインダーを覗きながらの調節を可能とする。これは、デジカメでありながら、アナログ的ニュアンスの表現に注力しているのではないだろうか。フォルムもカメラの原型というべき端正で実直で丁寧な作りに魅了される。アナログ感の良さがデジタルを包んでいるような商品だ。



■デジタルカメラ「FUJIFILM X10」

コンパクトボディにF2.0～2.8の新開発フジノン4倍マニュアルズームレンズ(135換算28-112mm相当)と、明るく視野角の広い光学ズームファインダー、2/3型1200万画素EXR CMOSセンサーを搭載したプレミアムコンパクトデジタルカメラ。「Xシリーズ」の特長である高画質、快適に撮影を楽しめる操作性、高級感のあるデザインを備えたモデルです。

【審査員の評価コメント】

まず、触ってみて、ズームレンズを回すことで電源がONになる機能には驚いた。シャッター音や手に伝わるクリックの触感など、アナログ的な要素は、触るほどに感性に響いてくる。銀塩カメラからデジカメに移行して忘れ去られた感覚的な要素が、触れるたびに蘇るようだ。



■デジタルカメラ「FinePix F600EXR」

広角 24mm からの光学式 15 倍ズームに最適な画像処理を行う「超解像技術」を組み合わせることで、遠くの被写体を 30 倍までくっきりと撮影できる新開発「超解像ズーム」を搭載したコンパクト型デジタルカメラ。1/2 型 1600 万画素 EXR CMOS センサーを搭載、「プレミアム EXR AUTO」により 99 パターンの撮影条件から最適なものをカメラが自動で判断。GPS 機能がさらに進化し、カメラを向けた方向にある、周辺のランドマーク情報を画面に表示することができる世界初「AR ランドマークナビ機能」も搭載しました。

【審査員の評価コメント】

昨年の受賞作の造形要素、斜めダイヤルなどの操作性の高さを受け継ぎながら、一段と強化した光学系、画像処理系を実現している。外観の要素として、新たに GPS を追加しているが、嫌み無くデザインされ、ランドマークナビの搭載と相まって、使用の可能性を高めている。



■デジタルカメラ「FinePix XP30」

「5m防水」「1.5mの耐衝撃構造」「-10°C耐寒」「防塵」の4つのタフネス機能を備えたデジタルカメラ。広角28mmからのフジノン光学式5倍ズームレンズ、1420万画素、CCDシフト式手ブレ補正機能を搭載。コンパクトサイズのボディにGPS機能を搭載し、撮影と同時にその場所の位置情報を記録することができるなど、アクティブなアウトドアでの撮影に最適なモデルです。

【審査員の評価コメント】

防水・耐衝撃・耐寒・防塵機能を備えていることが、その外観を見るだけで伝わる製品である。また、GPSを内蔵しているが、他の製品に見られる様なアンテナ部分の出っ張りがない。これは、レンズ部分の造形にアンテナを納めたためで、外観の美しさを損なわない最善のデザインが成されたことを示している。背面の操作系も、適度な間隔を保って配置されており、アウトドアでの使用に過不足のないものとなっている。



■乳がん検査用デジタルX線撮影装置「AMULET f / AMULET s」

世界最小画素 $50 \mu\text{m}^2$ ^{※2}の直接変換型FPDを搭載し低ノイズで鮮明なマンモグラフィ画像を描出する、乳がん検査用デジタルX線撮影装置です。乳房の画像特徴に応じた新画像処理技術により診断画像を飛躍的に向上させただけでなく、受診者の不快感軽減、撮影者の操作性向上にも配慮し、快適で使いやすいシステムを実現しました。「AMULET f」はマンモグラフィの通常撮影だけでなくバイオプシー検査^{※3}などの精密検査にも対応したフルファンクショナルモデル、「AMULET s」は通常撮影を中心とした主に検診向けのスタンダードモデルです。

※2 平成23年8月末時点アモルファスセレン型直接変換方式のデジタルマンモグラフィに関する公開情報に基づいています。(当社調べ)

※3 乳がん精密検査のための生検で、疑わしい部位に直接針を刺すことで細胞を採取し、病理検査を行う手法。傷も小さく縫合が不要で、小さながんや石灰化の診断にも有用。その中でもステレオバイオプシ検査は2方向からの撮影を行うことにより、検査部位を3次元座標で特定できる技術。別売オプション。

【審査員の評価コメント】

受診者に対する配慮の向上が評価された。①フェイスガードやアームレストの形状変更による「不快感」「苦痛」の低減。②検査技師の操作性向上による検査時間の短縮と技師の身体的負担の低減。③画像処理技術の融合による診断精度の向上から受診者の安心感へと繋がる。また、可能な限り部品の共通化を図ることで、無駄な新規部品の作製を抑制し導入を促す。更なる進展が望まれる。



■デジタルX線画像診断装置 「FUJIFILM DR CALNEO C 1417 Wireless / 1717 Wireless / 1417 Wireless SQ」

少ないX線量でもシャープかつ高画質なX線画像を提供する「ISS方式^{※4}」間接変換方式FPD^{※5}を採用した軽量・薄型のDR方式^{※6}無線タイプカセットデジタルX線画像診断装置シリーズです。既設の立位・臥位撮影台へそのまま装着でき撮影台の買い換えが不要なことや、瞬時に無線・有線の通信モードを切り替えられることなど高い実用性を実現しました。また、標準仕様である「1417 Wireless」、幅広FPDにより、大きな被写体の効率的な撮影を可能にする「1717 Wireless」、光変換効率に優れ少ないX線量でも高画質画像を得ることができ、被ばく線量の低減が求められる小児・産科領域などで特に有効な「1417 Wireless SQ」と幅広いラインアップによって、様々なシーンでご活用いただけます。

※4 Irradiation Side Samplingの略。従来型のFPDと反対側のX線照射面側にセンサーを配置し、X線の照射面側より、X線から変換された光信号を読み取る当社独自方式。光の散乱を抑え、効率よく検出できる。

※5 Flat Panel Detectorの略。被写体を通して照射されるX線エネルギーを検出し電気信号に変換するX線画像平面検出器のこと。

※6 Digital Radiographyの略。被写体を通して照射されるX線エネルギーを電気信号に変換し、X線透過画像として再構成する方式。

【審査員の評価コメント】

外観は基本設計を踏襲し、シンプルで清潔感のあるデザインにまとめられ、長く使われる事を意識している。無線と有線両方での使用を可能にし、確実に装着出来るバッテリーやコネクターケーブル、安心感のあるグリップなどを設けて操作性と確実性を両立している。従来にはなかった正方形型のカセットは縦横の入れ替えが不要で、技師のワークフローを大幅に軽減している。



■X線医療画像処理ユニット「CONSOLE ADVANCE」

デジタル化されたX線画像を受信し、放射線技師が画像品質の確認と最適化を簡単に効率よく行えるソフトウェアです。多岐にわたる一般X線撮影のワークフローや接続される様々な周辺機器などのあらゆるケースで、効率的で簡単、安全な撮影業務を行っていただけるよう、「直感的なユーザーインターフェース」、「様々な撮影用システムへの対応」、「高性能画像処理技術」などの新機能を搭載しました。DR/CR^{※7}という異なるタイプのX線画像読取装置に同時接続が可能なので、既存設備を有効に活用した各医療施設に最適な撮影業務環境を提供します。

※7 Computed Radiography の略。イメージングプレート（IP）に記録したX線画像情報を読み取り、診断目的に合わせて最適なデジタル画像処理を行うことで、高精度度のX線画像を生成する、医療用デジタルX線画像診断システム。

【審査員の評価コメント】

「効率の良い操作性」と「大きな画像表示エリア」、この2つを両立させたX線画像処理用ソフトウェアは技師に対しては従来の画像取得操作のメリットを維持しながら、さらに画像表示を高速化し、明快な画像レイアウトによって、ストレスのない操作が可能となっている。そして、そこで生まれた心的、時間的余裕を受診者へのケアに向けるというホスピタリティは、素晴らしいデザインストーリーであると評価された。



■中判フィルムカメラ「GF670W Professional」

描写力の高い新設計の55mm(135換算で約27mm相当)EBCフジノンレンズを搭載した広角タイプの中判フィルム^{※8}カメラ。2種類の画面サイズ(6×6cm判または6×7cm判)から選択して撮影できる、画面サイズ切り替え機能を備えています。軽量・コンパクトなボディ、シンプルな構造で、携帯性・操作性に優れ、風景写真や山岳写真、スナップ撮影等さまざまな撮影シーンで、ワイドで迫力のある写真をお楽しみいただけます。

※8 中判フィルム(プロニーフィルム)は幅約6cmのフィルムで、通常の35mmフィルム(2.4cm×3.6cm)に比べて画面サイズが約3.6倍(6×6cm判)もしくは約4.5倍(6×7cm判)と大きいため、大きく引き伸ばしても、よりなめらかで、粒子が細かくシャープな写真に仕上がる。カメラにより6×4.5cm、6×6cm、6×7cm、6×8cm、6×9cm、6×17cmなどの画面サイズがある。

【審査員の評価コメント】

中判フィルムカメラを携えて、風景写真を撮りに出かける。少し前は、当たり前の光景も、デジタルカメラに慣れた今では、シャッターを押す前の緊張感は尋常ではない。銀塩カメラでなければできない味は、そういった状況をも含んでいるのかも知れない。そういうノスタルジックな表情や無骨なまでのまじめさで構成されたデザインは、手にする喜びさえ、与えてくれそうだ。



■フォトブック作成ソフトウェア「フジフィルムフォトブック ハードカバー 店頭機注文用ソフトウェアおよびサービス」

フォトブックを初めて作る方にもわかりやすく安心してご注文いただけるよう、徹底したユーザー調査を行い、編集から注文までの操作が簡単に行えるシステムを構築しました。当社独自の技術を使って画像を解析する専用ソフトウェア「イメージオーガナイザー」を新開発。画像を時系列順にグルーピングし、ページごとに最適な形で自動レイアウトします。レイアウト後は、仕上がりのイメージを実際のページをめくるようなグラフィックデザインでプレビュー確認でき、安心してご注文いただけます。

【審査員の評価コメント】

急成長するデジタルフォトブックサービスには、編集機能を重視したオンライン系サービスと手軽にオーダーできる簡便性を重視した店頭系サービスが存在している。それぞれに特徴があるが、このサービスは写真店などで専用の端末を使ってオーダーする店頭系を代表するものである。レイアウト編集やコメント追加機能を強化し、編集自由度と仕上がりの選択性を向上させている点が特徴となっている。初めてのユーザーでも迷わないようGUIも工夫されており、これまでの店頭系サービスの弱点を解消するサービス設計となっている。自社の資産を新しいサービスとつなげたサービスモデルとなっている点も評価できる。



■インクジェットデジタル印刷機「Jet Press 720」

世界で初めて、シングルパス方式^{※9}により 4 階調・1200dpiの高解像度で菊半サイズ^{※10}(最大用紙サイズ: 750mm × 530mm)の高速印刷を可能とし、オフセット印刷に匹敵する高画質を実現する次世代インクジェットデジタル印刷機。印刷の立ち上がりが速く、刷版工程も不要。さらに多様な印刷用紙にも対応しており、伸長する小ロット印刷に最適です。

※9 記録媒体(用紙)に対してヘッドを1回だけ走査させて印刷を完成させる方法。印刷スピードが要求される業務用印刷に向いている。

※10 印刷によく用いられる用紙サイズ。636mm×469mm(菊半裁判規格サイズ)～728mm×515mm(B2規格サイズ)に印刷できるものを一般的に菊半印刷機といふ。

【審査員の評価コメント】

本製品は、用紙に対して1スキャンで印字するシングルパス方式のインクジェットヘッドを開発することで、オフセット印刷に適さない2千部以下の小部数でも、オフセット印刷並の高画質／高速／低コストな印刷を可能にした、デジタル印刷機である。操作パネルのデザインは、オフセット印刷のワークフローに沿った操作性を追求し、日常オフセット印刷機を使用しているオペレーターが戸惑い無くスムーズに操作できるよう配慮されている。外観デザインも、上下2トーンの配色とカバーのラインを揃えることによりすっきりした印象を与えており、技術、ユーザビリティ、意匠の点で完成度の高いデザインと評価した。



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

報道関係 広報部
インターネットホームページアドレス

TEL 03-6271-2000
<http://fujifilm.jp>